

授業科目名	心理学概論	教員名	劉 一 杰	卒業及び 免許・資格 との関係	卒業	選択必修
					小学校教諭	選択
科目番号	JIN104	配当年次	1年前期		幼稚園教諭	選択
授業形態	講義				保育士	選択必修
単位数	2単位				こども音楽療育士	選択
科目					情報処理士	
施行規則に 定める科目区分						
一般目標	「心理学」という学問の概要および「心理学」の各分野についての理解を深める。また、獲得した知識を社会や日常生活にあてはめて考えることで思考力・応用力を身につける。					
到達目標	(1) 心理学がどのような学問なのかを理解している。 (2) 心理学の各分野の内容を理解している。 (3) 授業で学んだ内容を社会や日常生活にあてはめて考えることができる。					
ディプロマ・ポ リシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「1. 社会・教育等に関連する国内外の様々な問題について、現状・課題を認識し、その解決策を考察できる能力を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	心理学が対象とする領域は広く、日常生活における様々な場面に心理学が関わっていると考えられる。本授業では、その心理学とはどのような学問なのか、どういった領域を扱うのかについて学ぶ。また、各領域を学ぶ中で得られた知識を社会や日常生活にあてはめて考えてみる。					
履修条件・注意事項	なし					
授業計画	<p>第1回：心理学とは何か（目標（1）（2）） 心理学の定義、歴史、研究方法などから、心理学がどのように発展し、また日常生活にどう役立つのかを考える。</p> <p>第2回：脳と心と心理学（目標（1）（2）） 脳と神経、神経伝達の仕組みについて調べ学習をすることで、心理学と生物学の関係を理解する。心理学と生物学の関係を理解する。</p> <p>第3回：感覚と知覚（目標（2）（3）） 感覚と知覚の基本知識について知ることで、普段自分たちがどのように世界を認識しているのかについて考える。</p> <p>第4回：感情とモチベーション（目標（2）（3）） 感情の構造やメカニズム、機能について学ぶ。また、人間の感情と動機が行動にどう影響するかを理解する。</p> <p>第5回：記憶と情報処理（目標（2）（3）） 記憶の内容や記憶のメカニズム、情報処理モデルについて学ぶ。</p> <p>第6回：知能と思考（目標（2）（3）） 知能の定義や測定の方法、また思考の仕組みと問題解決のプロセスについて理解する。</p> <p>第7回：パーソナリティ理論（目標（2）（3）） パーソナリティの構成要素やビッグファイブ理論などについて知り、自分の人格がどのように形成させ、評価されるのかを学ぶ。</p> <p>第8回：社会心理学の基礎（目標（1）（2）） 社会心理学の基礎について知る（集団の影響・同調・偏見など）。他者や集団が個人の心理にどのように影響を及ぼすかについて考える。</p> <p>第9回：臨床心理学の基礎（目標（1）（2）） 臨床心理学の専門性、理論モデル、カウンセリング技能などについて知る。また、臨床心理の考え方もつことが、子どもや児童生徒と関わる中でどう役立つか考える。</p> <p>第10回：夢と意識の心理学（目標（1）（2）） 夢や意識・無意識が心に与える影響について、フロイトやユングの理論を通して考える（夢分析、無意識の世界など）。</p> <p>第11回：精神的健康と心理的障害（異常心理学）（目標（1）（2）） うつ病、不安障害、統合失調など、様々な心理的障害の基本について知る。</p> <p>第12回：心理療法（目標（1）（2）（3）） 認知行動療法や精神分析など、心理的障害に対する治療方法を学ぶ。</p> <p>第13回：心理学的アセスメント（目標（1）（2）（3）） 心理テストや質問紙調査の種類、適用方法、応用の注意点などについて学び、心理学的アセスメントがどのように行われ、どのような結果をもたらすのか理解する。</p>					

	<p>第14回：心理学と教育現場（目標(1)(2)(3)） これまでで学んだ心理学の基本知識や理論を踏まえ、教育現場における教師・保育者の役割および心理学の応用とアプローチについて考え、改めて教育現場における心理学の重要性を理解する。</p> <p>第15回：心理学の未来と新しい研究（まとめ）（目標(1)(2)(3)） 14回目までの授業内容をまとめるとともに、授業内容が日常生活にどのように活かされるのかについて考える。</p> <p>定期試験</p>
授業外学習時間の確保について	<p>（事前・事後学習として週4時間以上行うこと。）</p> <p>事前学習：毎回次回の予告を行い、次回までの課題を提示する。</p> <p>事後学習：学習内容を自分の言葉で他者に説明できるようになるよう努めることとする。授業の冒頭で、前回の授業内容についての説明を求めることがある。</p>
学生に対する評価	<p>授業外学習として提示される課題と学期末試験の結果により総合評価を行う。評価の割合は授業内外学習の課題や発表などが40%、定期試験の成績が60%とする。</p>
テキスト	<p>授業内で資料を配布する。</p>
参考書・参考資料等	<p>授業内で適宜提示する。</p>
担当者からのメッセージ	<p>本授業を通して、少しでも心理学について興味をもっていただければ嬉しいです。</p>
オフィスアワー	<p>質問等は毎回の講義の後に受け付ける。 それ以外の時間は、事前にメールにてアポをとること。</p>
備考	<p>なし</p>